



ラグビーワールドカップ2019組織委員会 Newsletter

Vol.17 (2013年11月)

2013年も残るところ1ヵ月となりました。今月号では、11月に実施した成功議連ファンクションや開催都市ガイドライン説明会、アンバサダー活動、国会ラグビークラブ主催試合についてご報告いたします。

■11.2 RWC 2019 成功議員連盟ファンクション実施

11月2日(土)、リポビタンD チャレンジカップ 2013 日本代表 vs ニュージーランド代表の試合に先駆け、RWC 2019 日本大会成功議員連盟と組織委員会の主催によるファンクションが開催されました。

成功議員連盟の中谷真一事務局長の司会のもと、成功議員連盟の町村信孝会長、組織委員会の御手洗富士夫会長、日本ラグビー協会の森喜朗会長よりそれぞれご挨拶をいただき、組織委員会の岡村正理事(日本商工会議所 会頭)の乾杯のご発声によりファンクションがスタート。ゲストとしてアンバサダーの松田努氏、増保輝則氏、田沼広之氏の3名も参加し、会場を盛り上げました。ファンクション終了後は満員の秩父宮ラグビー場へ移動し、日本代表の応援に加わりました。



ご挨拶をする成功議員連盟の町村会長(左)、組織委員会の御手洗会長(右)



■11.13 RWC 2019 「開催都市ガイドライン」説明会実施

10月31日(木)に発表となったRWC 2019「開催都市ガイドライン」は、配布を希望する54の自治体(17都道府県、37市町村)に向けて、同日に発送されました。その後、11月5日(火)にメディア向けの説明会(ブリーフィング)を実施し、13日(水)に自治体向けの説明会を行いました。いずれも質疑応答に時間を費やし、現時点での疑問の洗い出しと、その解消に重点を置いた内容で、多数の質問が寄せられました。

試合開催会場の選定は、大会成功のカギを握るとしても重要な作業で、説明会の開催と同時に、各自治体との個別対話も始まっています。来年10月の立候補の締切り、および2015年3月の開催都市の決定に向けて、全国の自治体との対話・交渉が繰り返されます。



■11.17 「TEAM 2019 全国キャラバン」高知県を訪問

RWC 2019 アンバサダーが全国 47 都道府県を訪問する「TEAM 2019 全国キャラバン」は、11月17日（日）に田沼広之アンバサダーが高知県を訪れ、高知県立春野総合運動公園で行われたタグラグビー交流大会やミニ・ラグビーの練習会に参加し、小学生から社会人までの高知のラグーマン・ラグーウーマンと汗を流しました。

小学校低学年のミニ・ラグビーの練習会では、「練習の時から掛け声は大きな声で！」と子供たちに気合いを注入。ラグビー歴2カ月の高校生たちには、「本気でやれば、今からでも代表になれる！」と自身の経験談を織り交ぜ、熱のこもったメッセージを伝えていました。

午後は、同グラウンドで高校大会の決勝戦を観戦。土佐塾高校と高知中央高校のひたむきなプレーと、

彼らを懸命にサポートし、応援する関係者・観客の皆さんが印象的でした。



■11.18 奥克彦大使 10 周年忌追悼記念試合 開催

11月18日（月）、快晴の秩父宮ラグビー場で、国会ラグビークラブ主催による「奥克彦大使 10 周年忌追悼記念試合」が開催されました。

2003年11月29日にイラクで殉職された奥克彦大使は、兵庫県立伊丹高校時代には全国高校大会に出場し、早稲田大学、オックスフォード大学でもラグビー部に所属。ラグビーを深く愛し、日本でラグビーワールドカップ開催を強く希望されていました。

試合には、国会ラグビークラブ 19 名と大使館連合（英国、アイルランド、米国他）20 名、その他外務省や防衛省の関係者等約 20 名が加わり、故人を偲びながらラグビーを楽しみました。



お問合せ：公益財団法人 ラグビーワールドカップ 2019 組織委員会 事務局
〒107-0061 東京都北青山 2-8-35 2 階 TEL 03-5771-2019 FAX 03-5771-2018
<http://jp.rugbyworldcup.com/rugbyworldcup2019/>

RWC 2019

検索